件名	令和7年度コミュニティ交流会について
内容	<p>日時：令和7年7月26日（土） 9時00分～12時00分</p> <p>場所：市民福祉プラザ5階</p> <p>参加者：合計56名（43町内会）</p> <p>対象：260町内会</p> <p>中央地域：66町内会（城西、武・田上地区）</p> <p>谷山地域：101町内会（谷山北部）</p> <p>伊敷地域：52町内会</p> <p>吉野地域：31町内会（全域）</p> <p>東桜島地域：10町内会（全域）</p> <p>会次第：別紙のとおり</p>
	<p>【意見交換による5グループの事例等の発表】（主な内容）</p> <p>テーマ：「町内会の加入促進について」</p> <p>サブテーマ：①課題と解決策及び実績</p> <p>②コロナ禍を契機に始めたこと、やめたこと</p> <p>Aグループ（発表者：永吉町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション・アパートが増加しており加入率向上期待できない。 ・あいご会の加入期間のみ町内会に加入し脱会する人がいる。 ・ゴミステーションに町内会名を掲示し維持管理していることをPRし、入会者にはエコバックを配布中。 ・加入率は高いが子育てが終わったら役員をやめる人がいる。 ・所有者と連絡が取れない空き家の問題や、スマホを持っていない高齢者のいる地域におけるデジタル化の問題がある。 <p>Bグループ（発表者：大明丘団地会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションに関する悩みの共有。 ・新居が増えている中、隣近所の方々が声掛けしてくれるため、入会希望者から連絡あり。 ・新規加入特典クーポンの効果がある。 ・班長会においてクーポン制度を共有したところ、班長の意識向上につながっているようだ。 ・今年から全世帯に緊急連絡カードを配布。 ・防犯や防災に関して、町内会がどのように関わっているかを見せられれば入会者も増えるのでは。 ・BANDというアプリを活用して回覧板作業が軽微になった事例があったので、参考に取組んでみたい。 <p>Cグループ（発表者：星ヶ峯東町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未加入者へは町内会の役割や活動について丁寧に説明するべき。 ・準会員制度に関する情報共有をする中で、正会員とのバランスに問題がでるのではないかという懸念の声もあった。 ・人と人とのつながりを持って活動するのが町内会。未加入者に対して、1件ずつ町内会が説明をしてもらったところ、加入率向上に効果があった。同じようにできないはもちろんあると思うが、やはり対話をすることが大事である。 ・町内会便り等を未加入者へも配布している。 ・市のふれあい会食を活用した会員の交流を行っている。 ・LINEの活用で回覧板をデジタル化している。

D グループ（発表者：永田町内会）

- ・新築入居者や未加入世帯へ訪問し声掛けを行っている。
- ・ゴミステーションの見回りやパトロールする際にのぼり旗をもってPRしている。
- ・未加入者に対してはゴミステーションの掃除に協力してもらおう町内会や、準会員として会員より高い会費をもらっている町内会があるようだ。
- ・寄付金集めの廃止。

E グループ（発表者：小野二丁目梅ノ木町内会）

- ・会議の回数を減らし、グループ LINE を活用して連絡をしている。高齢の役員も、家族等周りのサポートを受けながら LINE を使いこなしている。
- ・クーポンを活用して新規加入者を増やせた。
- ・集合住宅の方々は入ってくれないイメージだったが、入ってくれるようになった。
- ・防犯灯、ゴミステーションの維持・管理など知らず知らずのうちに町内会の恩恵を受けていることをアピールし加入促進をした方が良い。
- ・地域への還元や自助・公助、町内会と市の繋がりを分かりやすく説明する必要があるのではないか。
- ・企業に町内会へ加入してもらっている。

F グループ（発表者：星ヶ峯桜会福祉会）

- ・経験年数の長い会長さんからの情報共有アドバイスが非常にためになった。
- ・ゴミステーションに町内会加入案内を掲示するのは加入者の増加に効果があると感じた。
- ・町内会だよりなど町内会活動のアピールが未加入や脱会者の減少に役立つのでは。

G グループ（発表者：岩崎町内会）

- ・ゴミステーションの管理としてネットをかけても効果がなくカラスの被害に悩まされている。ゴミ収集の時間を早めてほしい。
- ・町内会長のなり手がいない。